

## 会 議 結 果

|      |  |
|------|--|
| 会議名  | 令和7年度第3回館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会  |
| 日時   | 令和7年9月4日（木）午後2時から午後3時まで  |
| 場所   | 向井千秋記念子ども科学館3階会議室  |
| 出席者  | <p>【委員】計7名<br/>           神谷会長、田中委員、菅野委員、仙波委員、島田委員、板橋委員、河内委員 ※欠席者：丸山委員、鈴木委員</p> <p>【市職員】計4名<br/>           政策企画部長、企画課長、政策推進係長、政策推進係担当</p>  |
| 議事要旨 | <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 館林市人口ビジョン（令和7年度改訂版）・第3期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の策定について</p> <p>【結果概要】</p> <p>事務局案について、本委員会としての「計画案」として決定</p> <p>※ただし、計画案57ページ（まちなぎわいの創出）の指標「お試し移住体験ツアー参加組数」における目標値及び61ページ（子育て支援の充実）の記載④について、軽微修正検討案件として事務局において再度検討する旨を確認</p> <p>⇒後日、事務局検討により、以下のとおり決定。各委員に周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お試し移住体験ツアー参加組数」の目標値について<br/>             「1組」→「3組」に変更</li> <li>・「子育て支援の充実」の記載④について→変更なし</li> </ul> <p>（委員からの主な意見等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 57ページ（まちなぎわいの創出）の指標「お試し移住体験ツアー参加組数」の目標値が「1組」となっており、ある程度の目標を立てて様々な施策に取り組んでいく姿勢が必要と考えるがどうか。</li> <li>・ 61ページ（子育て支援の充実）の記載④について、「地域一体の医療体制づくりの推進」が主な目的であると思うが、「館林厚生病院の機能の充実」が主な目的のように捉えられる記載となっているのでは。</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施策を進めていくうえで、過去の実績や目標値に捉われず、「今後どのような方向で進めていくか」をしっかりと考えていただきたい。</li> <li>・ 人口の増に向けてはやはり「産科医を増やす」ことは必須と考えられる。</li> <li>・ 鉄道会社等と連携し、「館林は東京から通える」という点を都内向けに広くPRするのもよい。</li> <li>・ 館林市であれば、都内から通える距離にあるので、例えば医学部の学生に奨学金を支給し、卒業後、館林市に勤務してもらえればその奨学金は返さなくてよいとする制度などを設ければ、都内の産婦人科を希望する学生も、住所は都内でも勤務地が館林ということになるかもしれない。</li> <li>・ 館林市においても人口が減ってしまうという点は否めないことから、コンパクトシティ化を進め、どこに人を集積させて、賑わいを保っていくかということが非常に重要である。</li> </ul> <p>4 その他<br/>神谷会長からのあいさつ</p> <p>5 閉会</p> |
|--|---|